

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型ライフサポートー互一笑 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	R6年10月10日		R6年11月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R6年10月10日		R6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R6年11月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多機能型の事業所であるため、放課後等デイサービスのデイルームだけでなく生活介護、就労との共有スペースの活用を図れる。また、様々な年齢の利用者様との交流などが図れること。	当日の利用人数や状況に応じて、共有スペースや別室を活動スペースや個室として利用できる。また、他サービスのイベントへの参加なども可能である。	事業所内のみならず、同法人の他事業所のイベント(羽咋事業所の農業体験、GH海と空のクリスマス会、うみそらキッチン)などに参加する等、就労体験や調理実習活動などへの取り組みを活動に組み込んでいくことができる。
2	職員の資質の向上のための研修の機会が毎月1回以上設けられており、それにより障害についてのみならず、人間性の向上や虐待防止、感染防止等についても勉強できること。	部署ごとに毎月勉強会を開催し、職員が講師となり障害についての専門的な理解を深めるための課題を設定し、資料を作成したり伝達したりすることにより全員が報告書を提出し有効性を評価している。	外部研修に参加した職員が、研修で学んだことを一人のものにせず、他職員へ伝達研修という形式で共通理解を深めている。
3	日々の支援の記録に関して、丁寧に記録をとることが徹底されており、その記録を日々の支援の検証・改善とともに個別支援計画の進捗確認や見直しにつなげていること。	ケア記録の共有により日々の支援の様子を職員全員が把握できるのはもちろん、連絡帳や送迎時のご家族様とのコミュニケーションを大切に情報共有を図っている。	一人ひとりの課題やニーズを職員全員が把握し共通した支援を実施するとともに、子どもとご家族の最善の利益を追求していくことに努める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	業務改善のためにPDCAサイクルの取り組みを再開していくこと。	震災の影響で、業務改善のための目標設定や振り返りするための時間や職員が足りなかった。	少しずつ通常の体制に戻ってきており、出来るだけ早く業務改善に対する個人の意見の集約や個人目標の設定、振り返りを実施していく。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫をしているが、近隣に使用できる施設(公共施設・公園・アリーナ等)が少なく、様々なプログラムを組み込むための資源が不足している。	震災の影響で利用者数が減少し、特に平日は学校の下校時間の関係で利用時間が平均1時間となり、個別のプログラムを組み込むための時間が少なく計画が難しい。	一人ひとりの特性や課題に応じて、活動プログラムが固定化しないよう、曜日、利用者、利用時間に応じてきめ細やかに個別のプログラムを計画する。
3	身体拘束について、職員については虐待防止委員会の設置や研修等への参画により周知徹底がされているが、放課後等デイサービス・児童発達支援ともに個別支援計画に身体拘束についての項目が表記されていない。	障害特性に応じて、危険が伴う場合に限りやむを得ず身体拘束を行う場合があることを保護者様には個別に説明し同意を得ている。また、やむを得ず身体的拘束が必要な場合は、計画書に記載している。	身体拘束について組織的に決定した事項をそれぞれ保護者様や子どもたち本人に説明・同意を得ながら、わかりやすい説明を心がけていく。

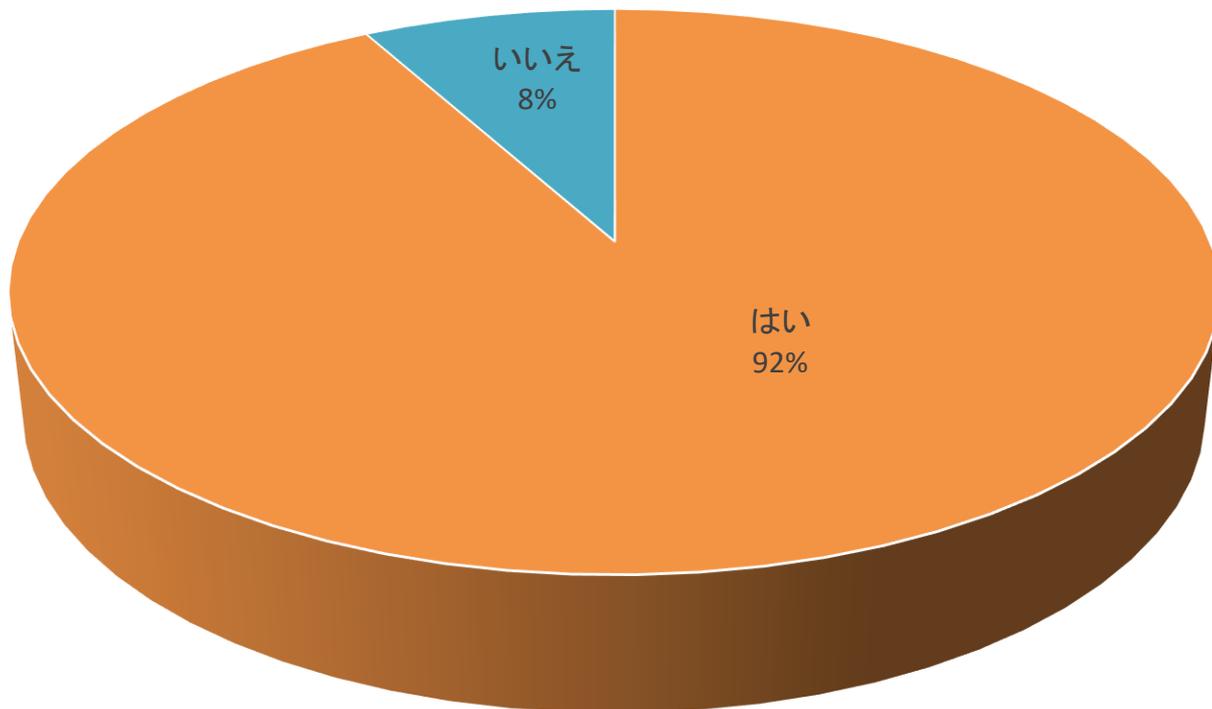
放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 12月 1日

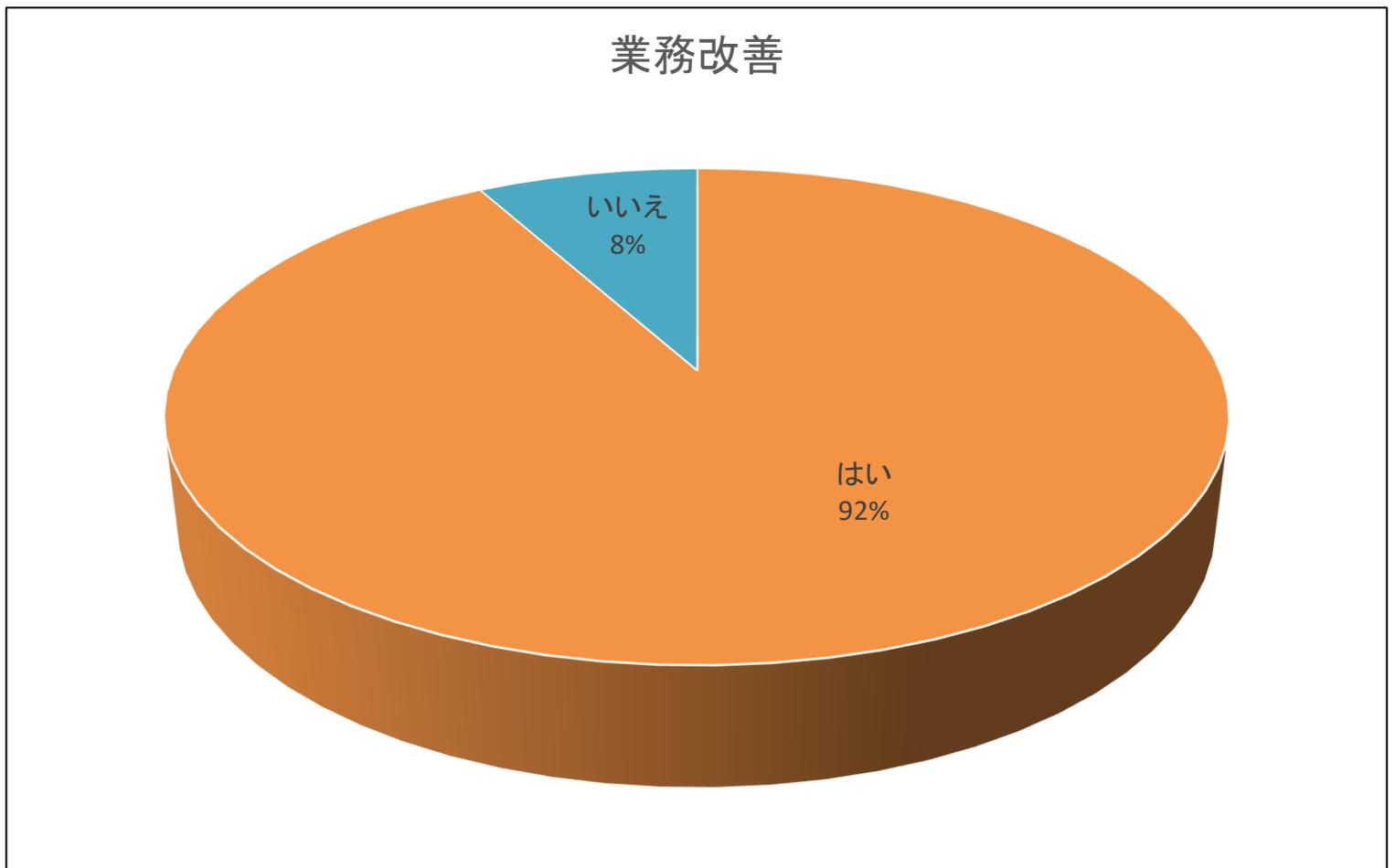
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	* 定員数全員が来所すると狭いと感じることがあるので、当日の利用人数に合わせ、交流スペースや別室を利用する等している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	* 基準以上の人員を配置し、安全の確保を図っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	* 障害特性に応じた環境づくりを心掛けているが、設備等の改善を図った部分についてお便り等に明記し、情報伝達を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	* サービス開始前と終了後、毎回部屋の清掃や玩具の消毒を行うとともに活動に合わせて机やパーテーションで空間を仕切るなど工夫している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	* 放課後の部屋だけでは個別の部屋が足りないなので他の空いている部屋を活用している。
			合計	23	2

環境・体制整備



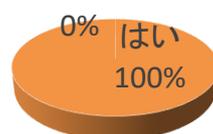
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	* 震災以降できていなかった時期もあったが、定期的に目標設定と振り返りができるよう仕組みを整えていく。 * 支援振り返りシートを活用している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	* 年に1度のアンケートを元に、業務改善の参考にしている。 * 評価表を元に、職員で検討し、業務改善につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	* 毎月の全体会議や職員会議等で出された意見を、業務改善につなげている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	* 第三者による外部評価は行っていないが保護者からの意見を聞き改善している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	* 月1回スタッフが講師で研修を行っている。
	合計			23	2



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	* 個別支援計画を元に一人ひとりの支援プログラムを作成し、ご家族にも説明している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	* 放課後等デイサービス計画作成には日々のアセスメントによるニーズの把握と計画への反映を心がけている。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	* モニタリングや支援会議等に子どもの支援に関わる職員が参加し、こどもの最善の理解について情報共有している。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	* モニタリングや支援会議等に子どもの支援に関わる職員全員が参加し、放課後等デイサービス計画について情報共有している。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	* 子どもの支援に関しては、日々の記録やミーティング時にアセスメントを行うなど、職員皆が確認するようにしている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	* 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの支援内容や必要な項目を設定し、放課後等デイサービス計画に反映するよう具体的な支援内容を設定している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	* 担当者が作成した活動プログラムについてチームで検討している。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	* できるだけ固定化しないよう工夫しているが、マンネリ化している部分は改善していきたい。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	* 個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	* 朝のミーティング時に打ち合わせを行い、職員の役割分担等について確認を行っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	* 支援終了時にはミーティングを行い、支援について情報共有を行ない、終礼時に発表している。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	* 日々の記録物はその日に作成し、各自が目を通せるようにし、支援の検証や改善につなげている。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	* 毎月の職員会議においてモニタリングを行い、計画の進捗状況の確認や、見直し等について検討している。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	* 計画作成時に放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」の中から複数を組み合わせて支援計画し、計画に沿って支援している。
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	0	* 自己決定する力を育てよう支援計画を作成し、それに沿った支援の工夫をしている。	
合計	75	0		

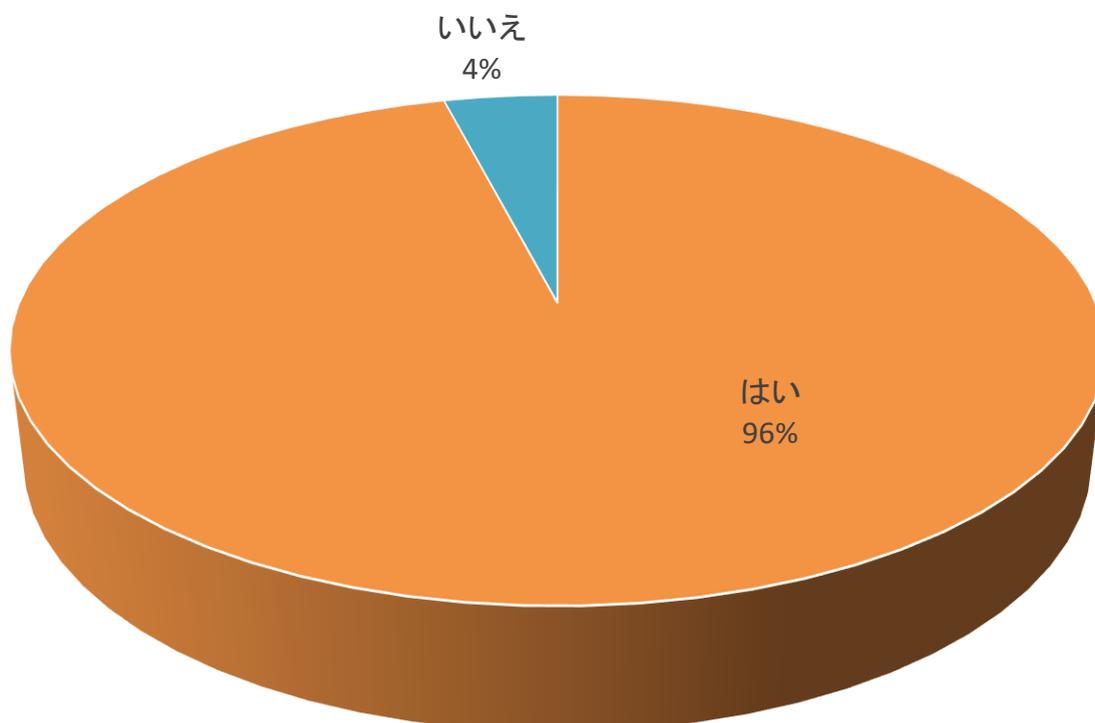
適切な支援の提供

いいえ

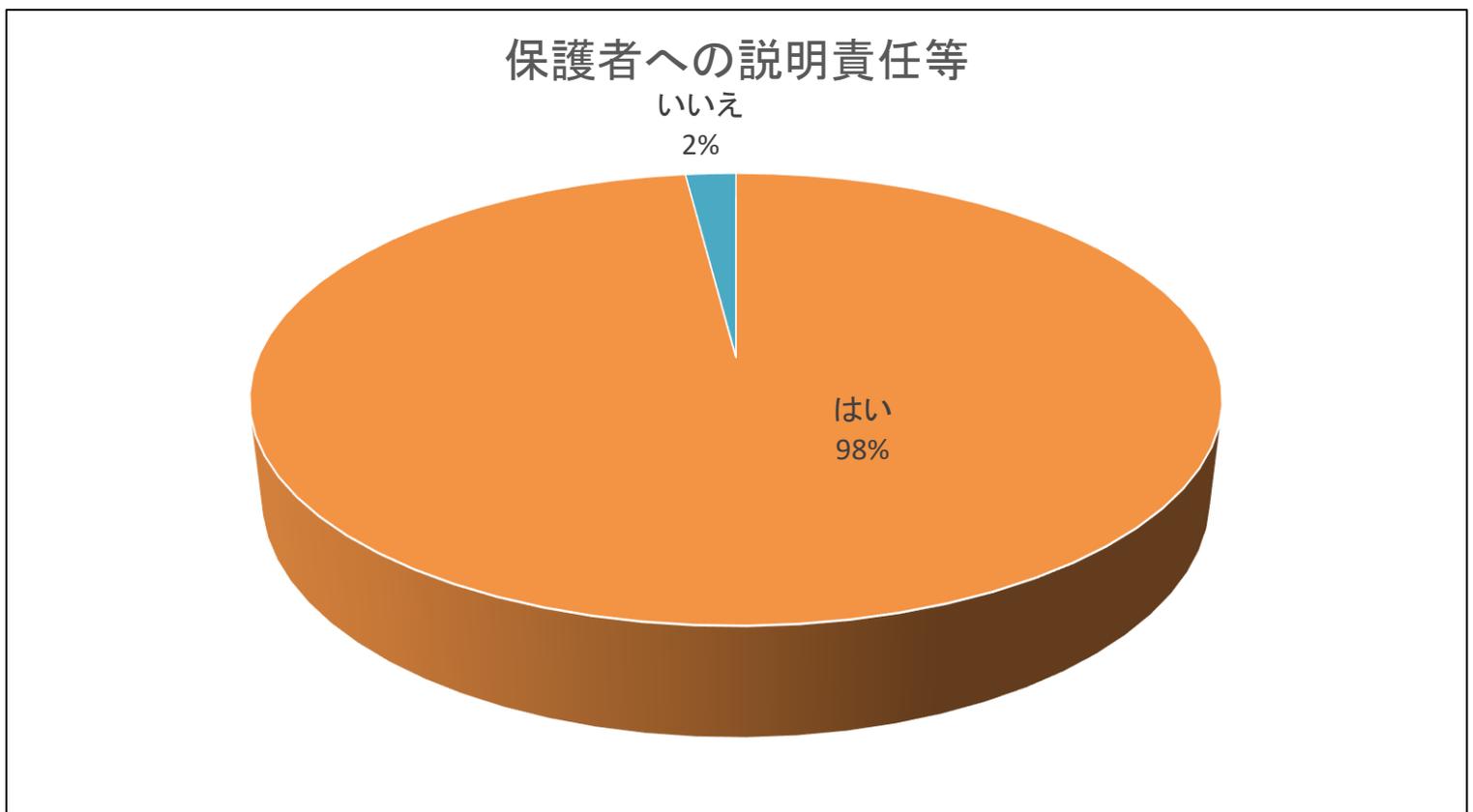


	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	* サービス管理責任者と共に、放課後等デイサービスの担当職員が一緒に参加している。
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	* 地域の関係機関との連携体制を整えており、必要に応じて支援の協力をしていくようになっている。
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	0	* 学校との情報共有については、保護者を通じて連絡をいただくほか、緊急時には学校に直接確認をするなどして適切に行うようにしている。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	* 就学前に移行支援会議を開催するなど、情報共有と相互理解をしている。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	* 学校卒業前に、関係機関で情報共有の為の支援会議を開催し、情報を提供している。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	* 管理者が会議に参加している。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	* 震災後は出来ていなかったが、徐々に活動の機会が増えてきているので、今後、状況を見ながら参加していきたい。
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	* 管理者が会議に参加している。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	* 毎日の送迎時や連絡帳などで保護者とのコミュニケーションを図り、共通理解に努めています。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	* 家族支援プログラムについては職員が研修で学んでおり、必要時にはご家族に参加いただけるよう情報提供しています。
	合計	48	2	

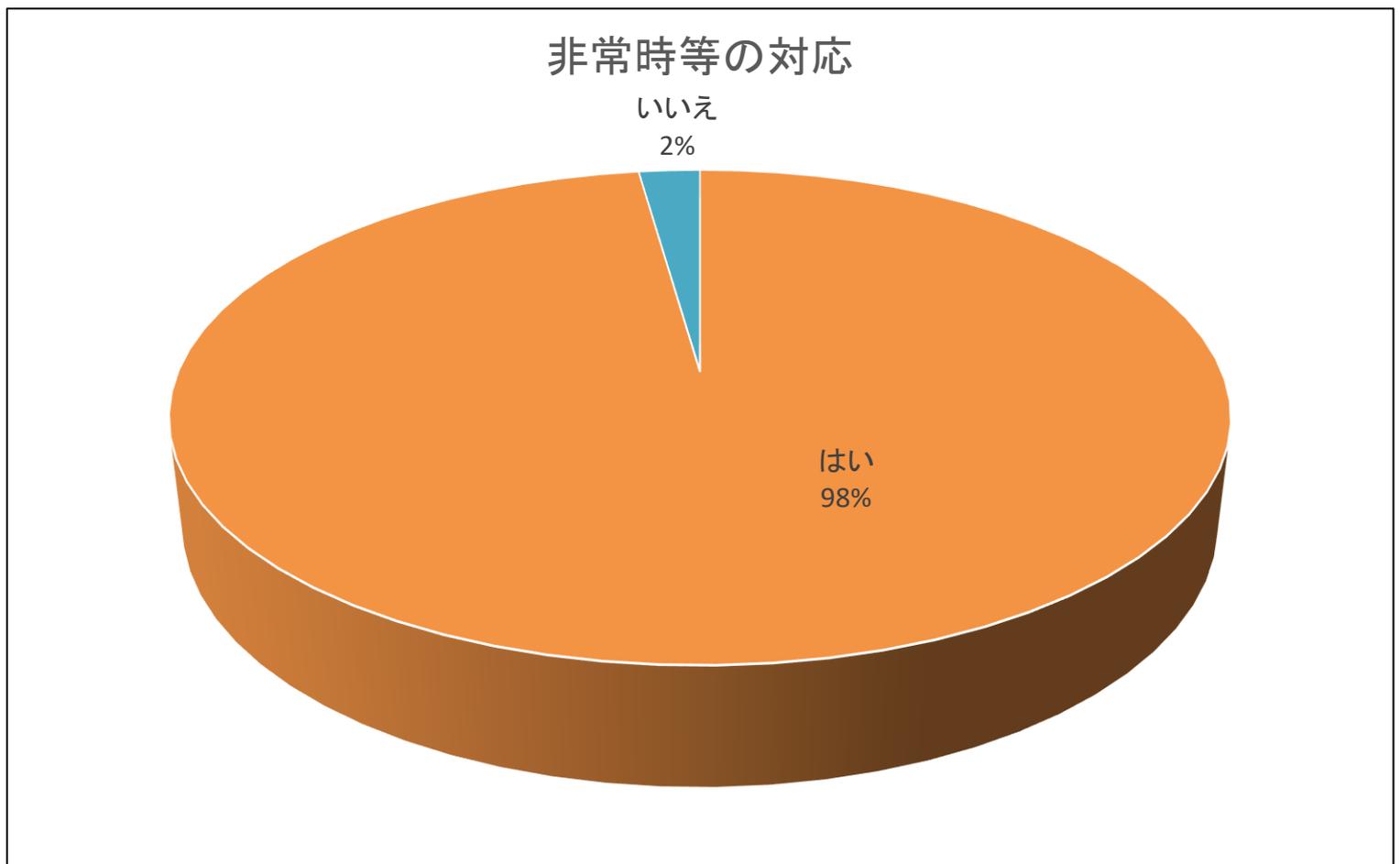
関係機関や保護者との連携



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	* 契約時に、口頭と書面で説明を行っています。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	* 契約時に、口頭と書面で説明を行っています。支援計画時に、保護者や子どもたちの思いを受け止め、最善の利益を優先した支援を行えるように確認している。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	* 計画書作成時に、書面を提示しながら口頭と説明を行い同意をいただいている。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	* ご家族の相談や申し入れに随時対応できる体制を整えるとともに、面談や助言を随時行えるよう対応している。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	* 震災の影響で、保護者会等の開催が困難な時期もあったが、今後は定期的を開催するよう計画している。
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	* 苦情担当窓口を設けるなど体制は整っており、迅速かつ適切に多雨応じていく。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	* 定期的に通信等を発行し、HPやSNS等でも活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	* 職員に周知徹底している。
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	* それぞれの障害特性に応じた意思疎通の配慮を行っている。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	* 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域の方に事業について理解いただけるよう努めている。
	合計	49	1	



		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	* 各マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、定期的に発生を想定した訓練を実施している。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	* 業務継続計画(BCP)を策定し、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	* 利用開始時と毎年年度初めに服薬や予防接種、発作等のこどもの状況を確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	* 基本は弁当持参を基本とし、ご家族の同意の元食物アレルギーの食品が除去できる場合は取り除く等の対応をしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	* 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施の上、安全管理に留意し支援を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	* こどもの安全確保に関して、お便りやSNS等で安全計画に基づく取組内容について周知し、家族等との連携が図られるようにしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	* 毎月の全体会議でヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	* 虐待防止のため、虐待防止委員会を設置し、職員の研修会を実施する等の取り組みをしている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	* 虐待防止委員会を設置し、身体拘束について職員の理解を図り、組織的に決定するようにしている。
		合計	44	1	



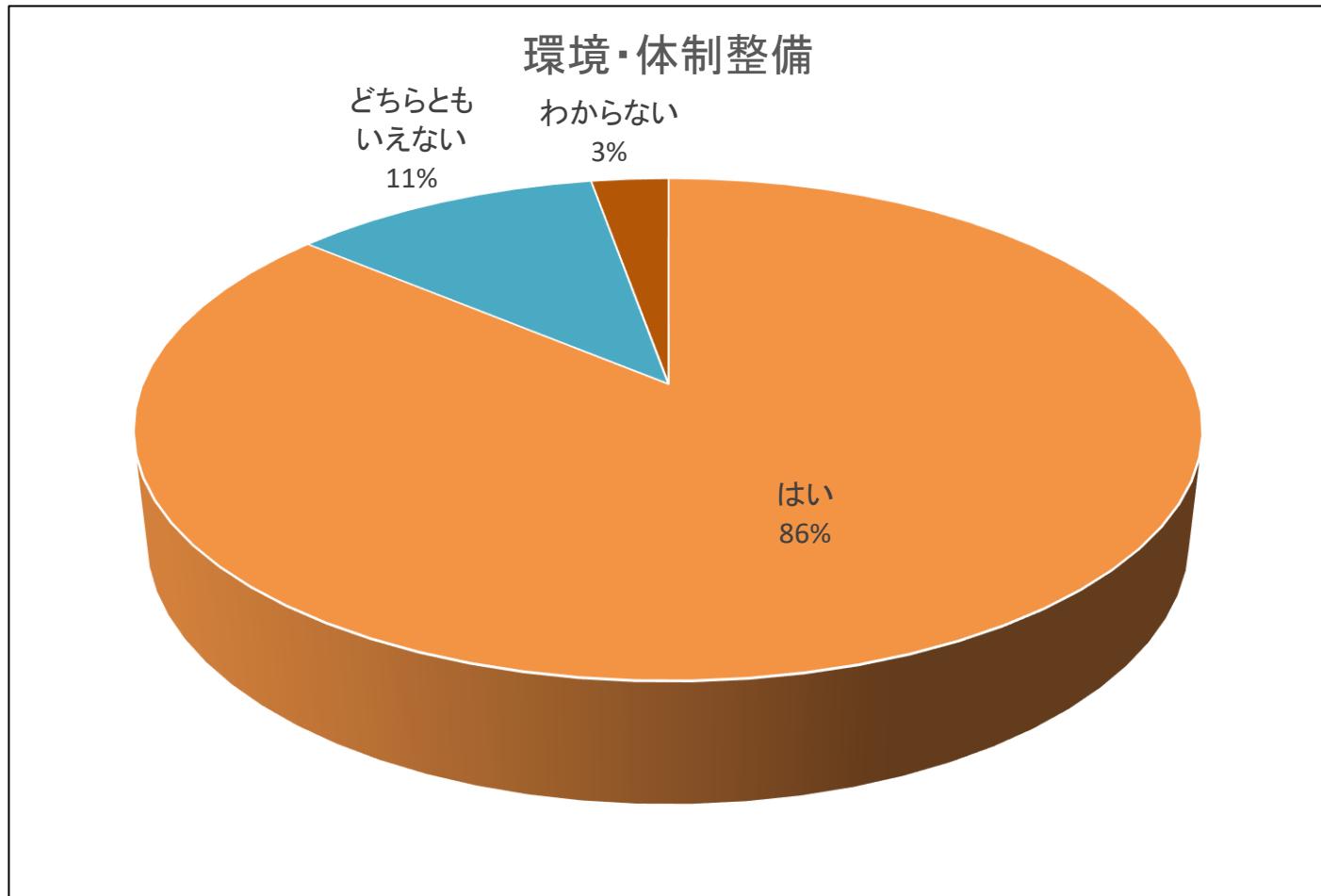
保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 12月 1日

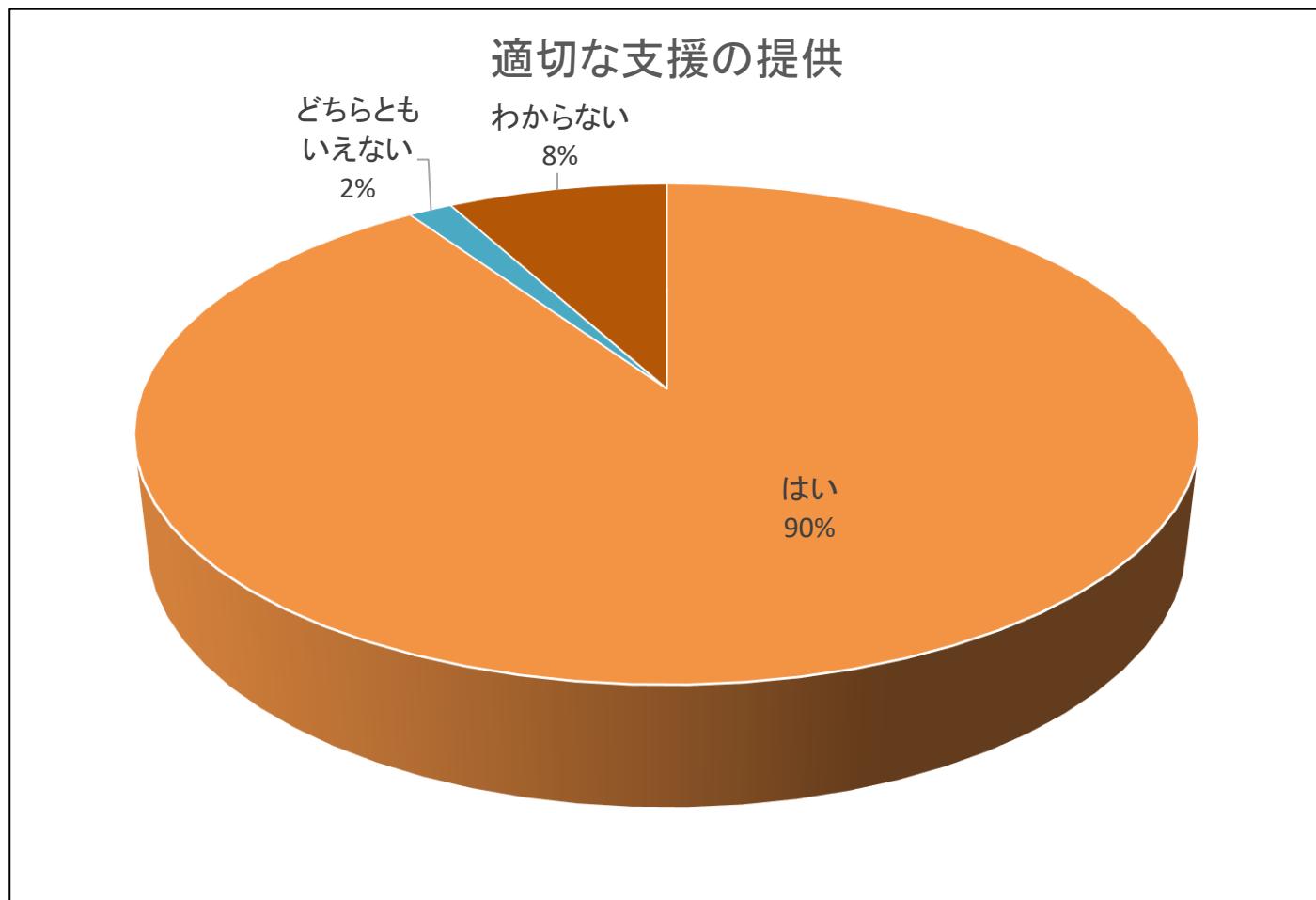
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

保護者等数(児童数) 回収数 9 割合 100 %

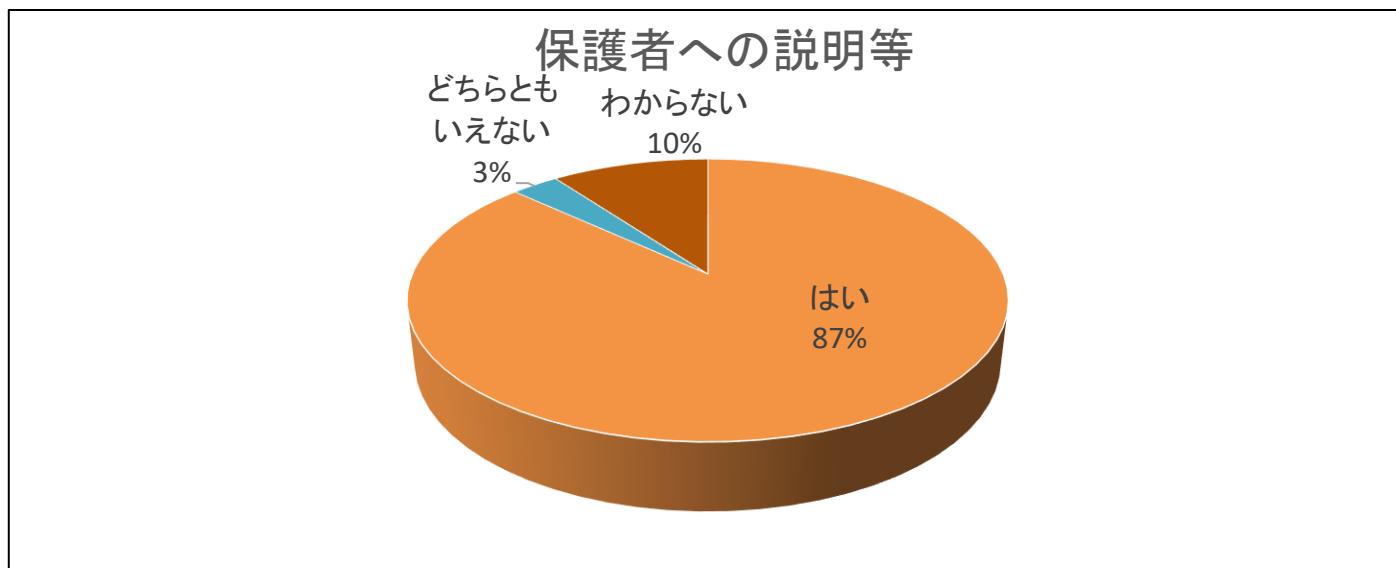
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2	0	0	* 人数が多いと少し狭く感じる。	* 当日の利用人数に合わせ、交流スペースや別室を利用する等している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	0	1		* 基準以上の人員を配置し、安全の確保を図っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	0		* 障害特性に応じた環境づくりを心掛けているが、設備等の改善を図った部分についてお便り等に明記し、情報伝達を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1	0	0		* サービス開始前と終了後、毎回部屋の清掃や玩具の消毒を行うとともに活動に合わせて机やパーテーションで空間を仕切るなど工夫している。
	合計	31	4	0	1		



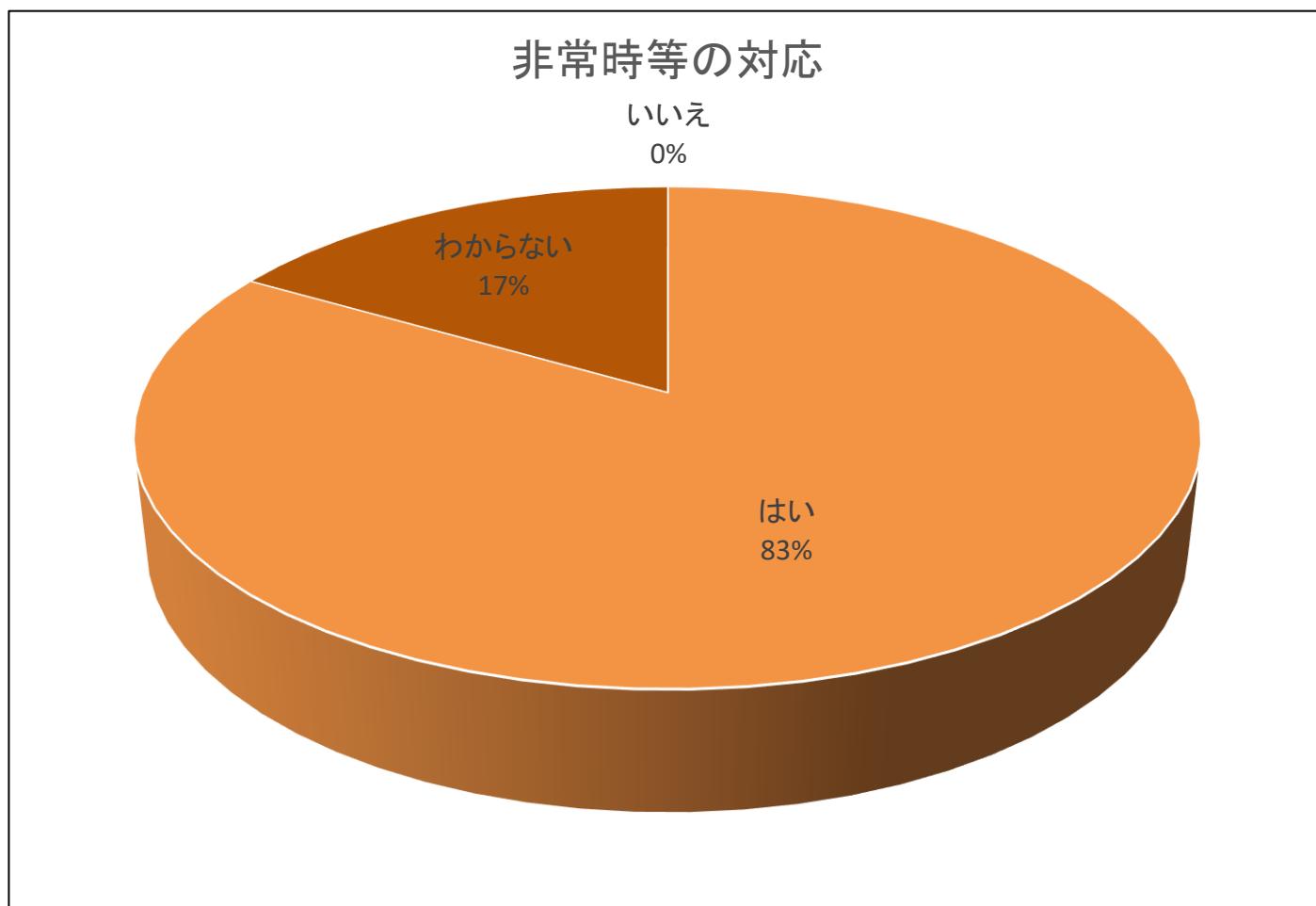
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		* 子どもたちの思いを受け止め、一人ひとりの特性に応じた支援を行えるように配慮している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		* 前もって計画し公表した支援プログラムに基づき支援を行うよう心掛けている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		* 保護者や子どもたちのニーズを会議やモニタリング時に把握し、放課後等デイサービス計画に反映するよう作成している。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		* 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの支援内容や必要な項目を設定し、放課後等デイサービス計画に反映するよう具体的な支援内容を設定している。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		* 支援計画に基づき日々の支援を行うよう心掛けている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0	* 色々な場所や経験をさせていただいて有難いです。	* できる限り活動プログラムが固定化しないよう心掛けている。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	0	5		* 震災後は交流する機会は減少したが、少しずつイベント等に参加し活動する機会を確保していきたい。
		合計	57	1	0	5		



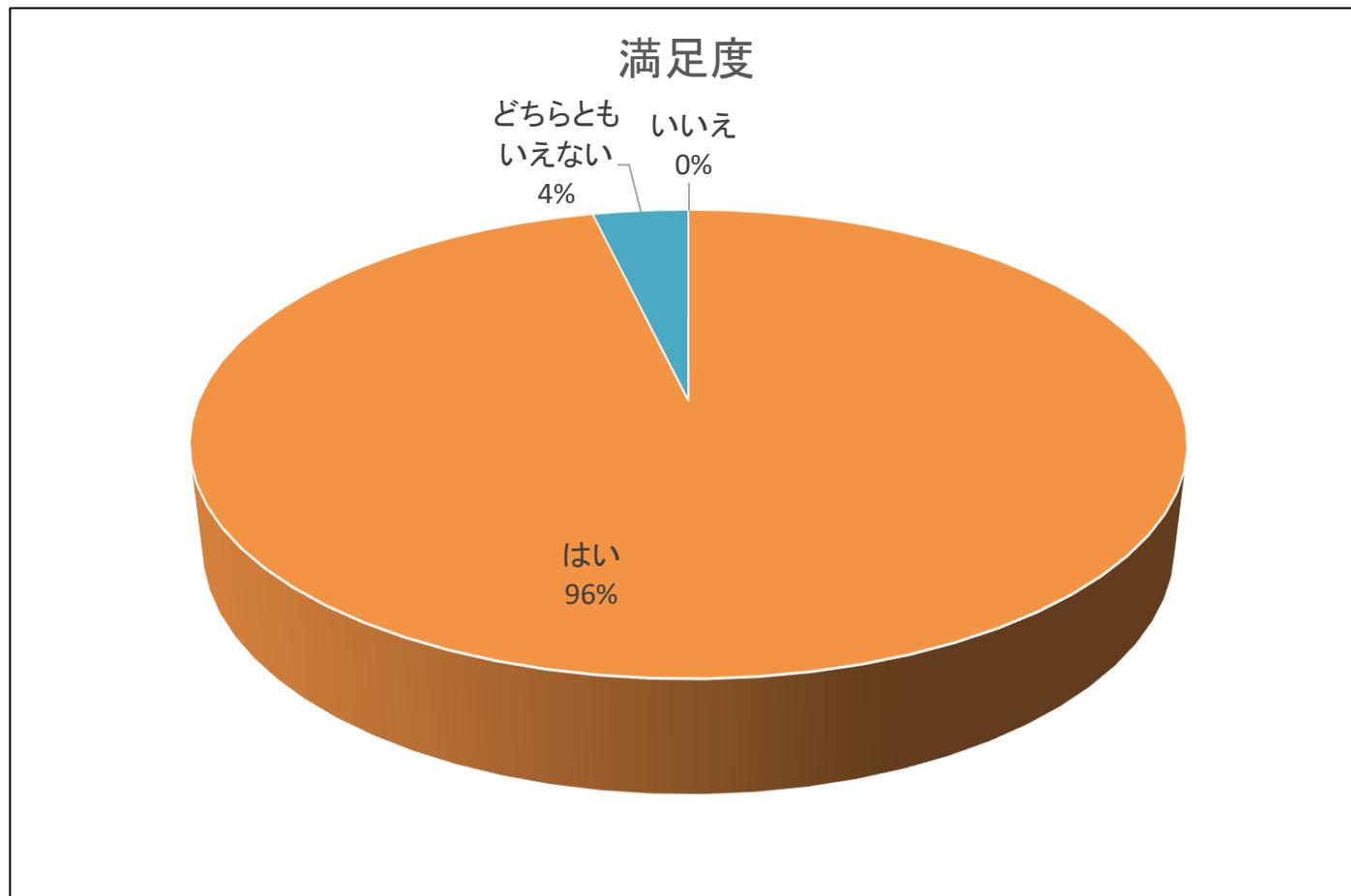
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1	0	1		* 契約時に、口頭と書面で説明を行っています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		* 計画書作成後に、書面を提示しながら口頭で説明を行っています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	0	0	3		* 家族支援プログラムについては職員が研修で学んでおり、必要時にはご家族に参加いただけるよう情報提供しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0		* 毎日の送迎時に、保護者様にその日の様子をお伝えし、連絡帳等でもお知らせすることで共通理解を図っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	0	0		* 半年に一度モニタリング時に面談し、子育て等に関する助言を行っているほか、随時保護者からの相談に応じる体制を整えています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		* 子どもたちやご家族のニーズを把握し、共感的に支援するよう心がけています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	0	0	5		* 震災の影響で、保護者会等の開催が困難な時期もあったが、今後は定期的に開催するよう計画しています。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	1		* 子どもたちやご家族の相談や申し入れに随時対応できる体制を整えるとともに、SNSやお便り等で周知しています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		* 子どもたちやご家族に対し、信頼関係を構築し、意思の疎通やコミュニケーションがしやすいよう配慮しています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	1	0	0		* 毎月、行事予定のお便りを配布し、親の会の会報は、年3回程度発行しています。 * 自己評価の結果をホームページで公表し、お便り等で配布しています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		* 職員に周知徹底しています。	
	合計	86	3	0	10		



		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	3		* 保護者会や保護者向けのおたよりでわかりやすく説明し、周知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	3		* 毎月1回、訓練を行っています。 * 法人のSNSにも掲載しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		* 避難訓練や感染防止対策について記載したお便りを配布し、安全計画に沿って支援しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0		* 事故発生等の緊急時については事業所内の連絡体制等が整っており、速やかに状況説明や報告ができるようになっています。
合計			30	0	0	6		



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		* 安心して通所できるような環境や職員の教育に配慮しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		* 子どもたちが楽しみに通所できるような環境を整えたり、職員の資質の向上を目指しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1	0	0		* 満足していただけるよう、より一層支援や職員の資質の向上を目指します。
	合計		26	1	0	0		



*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。